

令和 6 年 6 月 8 日現在

機関番号：32682

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19K00229

研究課題名（和文）中国舞踊における伝統の身体観研究—伝統中医学の身体観による身体表現技法の検証—

研究課題名（英文）A Study of Traditional View of the Human Body in Chinese Dance: Verification of Body Expression Techniques Based on View of Human Body in Traditional Chinese Medicine

研究代表者

富 燦霞 (FU, Sanka Tsan-Hsia)

明治大学・研究・知財戦略機構（駿河台）・研究推進員

研究者番号：10795925

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：京劇の身体表現における化粧、及び基本技法の表現原理を焦点に検証を行い、細部の表現まで伝統の身体観、思想が深く組み込まれていることを明確にした。化粧の2大形式は、中国的な倫理・道徳の基準によって人物を尋常と非尋常とに分け、中庸と非中庸に符合する構造を持つ。色は人間の生理と精神的变化の顕れを表現している。動作表現においては、動・静という異質な表現が基本要素として共存し、一つの身体に重層・互換する特徴は陰陽の宇宙観を表し、流動の動きと漲る静態の造形は中医学における臓腑経絡に流れる気の様態及び流れるリズムを表し、静態表現を行う役者の凝集 充滿 拡散という身体感覚は気の体内での増生状態を表している。

研究成果の学術的意義や社会的意義

伝統中国身体観や中医学の視点を中国舞踊の研究に取り入れたのは本研究が初であり、中国舞踊の研究に新たな道を開拓した。伝統思想を背景にもつ中国の身体観を用いれば、表現の深部まで解釈・理解可能となり、中国には西洋の身体とは異なる独自の身体表現があることを明確にした。これにより、西洋の舞踊理論や美学の視点を中核に置いて中国舞踊を改造や発展させてゆく方法は、中国独自の身体表現を失わせ、伝承を妨げることを示唆した。これが本研究の最大の成果であると言える。

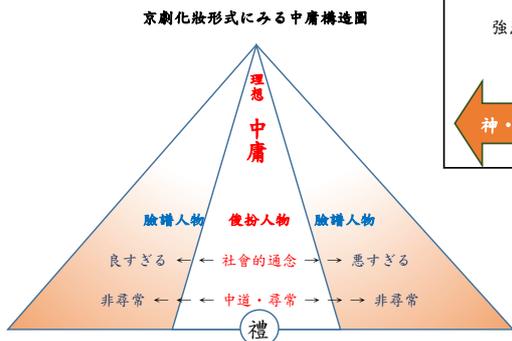
研究成果の概要（英文）：By focusing on the principles of makeup and basic techniques in physical expression in Beijing Opera, it became clear that traditional views of body and ideas are deeply incorporated into even the smallest expressions. There are two major forms of makeup, which divide characters into ordinary and extraordinary ones. This corresponds to zhongyong structure, which is the standard of Chinese ethics and morality. Colors show human physiology and mental changes on the surface of the body. The basic elements of movement expression are movement and stillness, which can be said the coexistence of exclusive expressions, and their layering and interchangeability in one body represent the yin-yang view of the universe. Flowing movements and overflowing static shapes represent the state of Qi flowing through the organs and meridians and its rhythm in traditional Chinese medicine. Physical sensations of the actor performing static expressions represent the state of Qi increasing within the body.

研究分野：舞踊学 中国舞踊 中国身体観

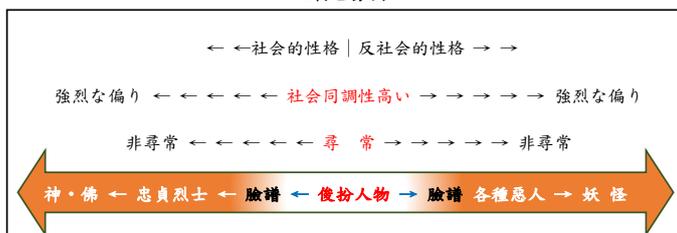
キーワード：中国舞踊 京劇 身体表現 中国伝統身体観 中医学



置に置かれると解釈することができる。



人物区分図



(5) 2大化粧形式に見える人物の全体の構造は、金谷治が言う「中庸の構造」の考えと一致した。中国の社会像を、2大化粧形式によって、戯曲の舞台上で顕現していると言うことができる。

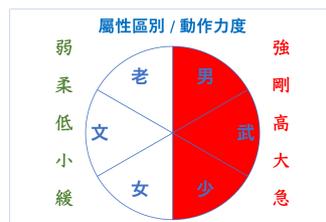
「戯曲の基本技法における動きの表現原理」(以下、「動きの表現原理」)にみる伝統の身体観  
 (6) 先行研究「動きの表現原理」で探り出した3つの特徴は全て、伝統思想及び中医学の身体観における陰陽の概念から解釈できる。①「静止の造形

陰と陽の特性

陽	運動	無形	放散	温熱	気	機能	促進
陰	静止	有形	凝聚	寒冷	血	物質	抑制

静止の形	流れる動き	部位
		頭
		手
		足
		胴体

と流れる動きの基本構成要素」は陰陽の対立・共存、②「静—動(複数の動静共存と互換) —静の全身の動きのパターン」は陰陽の互換・循環、③「技法をエフォートの二元的区分によって一つの技法で多様な人物を表現する」点は陰陽の相対的分類による思考である。伝統の身体観は戯曲の身体技法に深く組み込まれているということが出来る。これまで戯曲の動きは物語や演技のための断片的な動きであり、純粋な舞踊表現ではないという説は、これによって覆すことになる。



(7) 動・静表現の様態についての検証考察では、部位や全身共通に、静態表現は身体に気が漲るように行い、動態表現は流れるように円や弧線を描いて行っている。連続したフレーズの表現では、静—動(静—動—静...) —静のパターンを繰り返して、流れるリズムを作り出している。中医学においては、気血の臓腑経絡における流れは、経絡というルートの中で巡行するが滞りがあれば身体が不調から病気になるので、順調に流れることが理想とされる。一方、経絡の流れの途中に五臓を経由するが、五臓の中では気が漲ることが理想とされることが、中医学の經典である《黄帝内経》にも言及されている。気血は、経絡ルートでは川の流れのような状態、五臓では空気が風船を張らせるように充満した状態が理想とし、「流れ—漲る…」のパターンは気の流れるリズムである。戯曲の身体技法に見られる「静—動(静—動—静...) —静」のパターンは、中医学身体観のいう「気の流れるリズム」を身体表現の型として表したのである。

(8) 静態表現における身体感覚について、京劇家系の三代目伝承者である張春祥氏(研究協力者)の経験によると、演者の意識により、身体表現が気の操作に繋がる。「連続的であった動きを瞬間的に停止させ、気を身体の奥や丹田に凝集・圧縮した後、爆発するように気を全身に膨らませて、更に身体の外側へ拡散させる」という身体感覚で静態表現を行なっている。古代の文人が修身のために実践した「静坐」、中国学者の石田秀実氏が挙げた道教修行の「閉気」、中国思想専門家及び太極拳の伝承者である蔡璧名氏が明らかにした『莊子』の「神凝」、これらの身体感覚は、張氏が話した身体感覚と一致している。京劇の身体に見える大小様々な静止は、演技のために舞踊動作を中断させるものではないことがわかった。動態表現の中に含まれる静止または静態表現、その真の表現意義は、中国文化の精髓である「気」、殊に体内での「凝集—漲る—拡散」その自我昇華し得る貴重な気の増生状態を見せており、戯曲の身体表現の一つの型として発展してきたと言える。

比較：「神凝」と静態表現

「莊子」 「神凝」の身体感覚	京劇役者の静態表現の身体感覚
外の繋がりを断ち安静	静止する(他部分・他者の表現と断ち切る)
↓	↓
内側へ凝集	内側へ凝集
↓	↓ (爆発するように)
真陽の気が湧き出て全身に漲る	身体を膨れさせる
↓	↓
外側へ拡散	オーラが外側へ拡散

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計18件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 京劇の表現技法の静態表現にみる中国伝統の身体観
3. 学会等名 舞踊学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 京劇の表現技法に見る中国伝統の身体観 色彩・性格の表現と五臓の主る精神
3. 学会等名 日本スポーツ人類学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 『黄帝内経』にみる中国伝統の身体観
3. 学会等名 舞踊学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 京劇の化粧にみる中国伝統の身体観
3. 学会等名 舞踊学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 京劇の表現技法にみる中国伝統の身体観—二つの表現と臟腑経絡における気の状態—
3. 学会等名 日本スポーツ人類学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 曾照薰
2. 発表標題 中国舞踊と戯曲の関係
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 張春祥
2. 発表標題 京劇基本技法の特徴と訓練
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 京劇基本技法における動きの表現原理
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 陳峙嘉
2. 発表標題 陰陽と中医学の身体
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 陰陽を体現する身体表現
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 陳峙嘉
2. 発表標題 身体の五行における色彩の象徴
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 張春祥
2. 発表標題 五行における人物の化粧
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 色彩の象徴 内面を反映し神似の表現を助長
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 動・静表現の様態
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 陳峙嘉
2. 発表標題 臟腑経絡における気の流れ
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 静態表現の身体感覚
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 古代中国知識人における自己修養の身体感覚
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 富燦霞
2. 発表標題 静態表現における静止 気・凝集 拡散 溢れる
3. 学会等名 オンライン国際シンポジウム「京劇基本技法にみる伝統の身体表現」
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 中国舞踊における伝統の身体観研究 - 伝統中医学の身体観による身体表現技法の検証(計9回)	開催年 2022年～2023年
国際研究集会 中国舞踊における伝統の身体観研究 - 伝統中医学の身体観による身体表現技法の検証	開催年 2021年～2022年
国際研究集会 中国舞踊における伝統の身体観研究 - 伝統中医学の身体観による身体表現技法の検証	開催年 2019年～2019年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------

台湾	台湾芸術大学	雅ほう唯心中医診所	弘明実験高校付属小学校	他2機関
中国	新潮劇院			
台湾	台湾芸術大学	雅ほう唯心中医診所	台中弘明小中高一貫校	他2機関
中国	新潮劇院			
その他の国・地域(台湾)	台湾芸術大学	雅ほう唯心中医診所		
中国	新潮劇院			